

【4年】

○=よい点 ●=課題

国語	
■児童の状況	<p>○文章から必要事項を読み取り、登場人物の心情を考える力が身に付いている。</p> <p>○新聞や手紙などを書くときには誰に読んでもらうかの相手意識をもって書く活動に取り組むことができる。</p> <p>○作文には意欲をもって取り組み、定型通りに作文を書くことができる児童が多い。</p> <p>●自分の考えをもち、考えを言葉や文章にまとめる活動に苦手意識をもっている児童が見られる。</p> <p>●文の要点をつかむ力が十分でない児童が一部で見られる。</p>
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ一つの文章や語句をていねいに読み、段落相互の関係に注意しながら文章を読む姿勢を身に付けさせる指導方法の工夫</li> <li>・書くことが楽しいと思うような課題設定の工夫</li> <li>・自分の考えを文章としてまとめる力を育てる工夫</li> <li>・間違っている箇所は自ら修正をする意欲をもたせる工夫</li> </ul>
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人物や動物などになりきって書く作文、意見文など、書くことが楽しいと思うような書く活動を常時活動として行う。</li> <li>・毎週作文帳の宿題を出し、必要に応じて正しい作文の書き方を個別に指導する。</li> <li>・文の構成や文と文の関係性をもとに、文章や段落の中心文を探す活動の機会を十分に設ける。</li> <li>・自分の考えを話すことができるようにするために、日常的に自分の意見を発表するような機会を多く設定する。</li> </ul>

社会 カツヤ	
■児童の状況	<p>○東京都や日本の文化に興味をもち、資料を読み取ろうと意欲的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○学習したことの中から、大事な事柄を取り出して、ノートにまとめていく力は身に付きつつある。</p> <p>●社会事象に対する関心が低く、生活経験が乏しい児童が少なくない。水の供給やごみ処理の様子を学習しても、自分の考えをもつことが難しい児童が見られる。</p> <p>●47都道府県についての知識が少ない児童が多い。</p>
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもち、表現する活動の工夫</li> <li>・学習のまとめから、社会に参画する態度を身に付ける指導の工夫</li> <li>・日常生活と学習を結び付けて考えさせる指導の工夫</li> </ul>
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習の各段階において、自分の考えを友だちと交流できるような学習を取り入れる。</li> <li>・学習したことや経験したことをもとに課題を見だし、調べたり考えたりする問題解決的な学習活動を取り入れ、意見を交流させる。</li> <li>・日本の地理に興味をもたせ、47都道府県の位置や特徴が楽しく覚えられるように工夫する。</li> </ul>

# 算数

■児童の状況	○基礎的な計算問題に繰り返し取り組み、基礎学力を伸ばしている。 ○問題を図に表し自分なりの解法で問題解決したり、自分の言葉で説明したりしようとする児童が増えている。 ●学習内容の定着に個人差がある。特に基礎的な計算力に課題がある児童が見られる。 ●学習した内容を理解していても、応用したり、別の場面で活用したりする力が弱い。 ●分度器やコンパスの使い方が定着せず、読み取りや作図を苦手としている児童が見られる。
■指導についての課題	・基礎的な計算能力だけではなく、問題文を正確に読み取る力や、式の仕組みを理解し説明する力の育成を図る指導の工夫 ・問題場面に応じた用具の正しい使い方を理解し、正確に作図する力の向上を図る指導の工夫 ・タブレットの効果的な活用・提示方法の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・習熟度に応じた学習教材を活用し、習熟度によっては既習事項の復習を都度行う。また、習熟度に応じた個別指導の機会を増やす。 ・分度器、コンパスなどの用具の操作に慣れる機会を増やす。 ・デジタル教科書等、ICT機器を使った教材・教具を活用し作図の仕方を視覚的に理解しやすくする。 ・具体物を用意することで問題場面を読み取りやすいようにし、数の意味を言葉の式で表す機会を増やす。

# 理科

■児童の状況	○植物や動物の成長に興味をもち、親しみをもって接することができる。 ○自然事象から不思議さや面白さを感じ、それらを追究しようという態度が見られる。 ○問題に対する予想や仮説をもち、観察や実験に意欲的に取り組んでいる。 ●予想や考察を書き表す際に、根拠を伴った論の進め方が十分に身に付いていない。 ●実験結果の記録は出来るが、記録したデータを問題解決の論拠として十分に活用できていない。
■指導についての課題	・科学的に思考を進める指導の工夫 ・目的に合わせて結果を読み取る指導の工夫 ・図や表・グラフの見方や活用の仕方の定着を図る指導の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・「課題設定→予想・仮説→実験・観察→結果→考察→まとめ」の一連の学習活動を繰り返し行うことで、問題解決の力を付ける。 ・実験や観察結果を基に自分の考えが書けるように、文例や話型を示す。 ・実験結果と結論の関係について実験前に全体で確認し、見通しをもって実験に取り組めるようにする。 ・表やグラフを併用しながら実験の結果を記録することで、データを見やすく整理し、論拠を絞りやすくする。 ・算数科の授業と関連付けて、表やグラフの見方や書き方の定着を図る。

体育	
■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大半の児童が意欲的に体を動かし、体育を楽しもうとしている。</li> <li>○各種の運動について自己の課題を見付け、その解決に向けて学習を振り返ったり、課題を修正したりすることができる児童が多い。</li> <li>●運動能力に個人差があり、技を習得しきれない児童がいる。</li> <li>●友達同士で声を掛け合ったり、アドバイスをし合ったりすることが少ない。</li> <li>●各種の運動を楽しく行うために、活動を工夫することが苦手である。</li> </ul>
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量の十分な確保</li> <li>・個人差に合わせた場や指導の工夫</li> <li>・運動の目的を理解し、めあてをもって取り組むことのできる指導の工夫</li> <li>・スモールステップで技能を高めることができるような指導法の工夫</li> <li>・友達同士で声を掛け合ったり、アドバイスすることができる場の設定の工夫</li> <li>・けがや熱中症、感染症等の予防に配慮し、安全に運動できる指導の工夫</li> </ul>
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業の流れをよく計画し、運動時間を確保する。</li> <li>・段階的な学習カードを作成し、繰り返し練習するなどして、基本的な技能を身に付けさせる。</li> <li>・自己の課題を見付けることができるように、運動のポイントや課題に対する修正方法の視点を示した学習カードを使用する。学習カードをもとに、めあてを決め、授業が終わった後には振り返りをする。</li> <li>・児童に安全への意識を指導するとともに、安全に活動できる環境を設定し指導を行う。</li> </ul>

総合的な学習の時間 カツヤ	
■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題に興味・関心をもち、図書やインターネットを利用して、調べることができる。</li> <li>○図書やインターネットで集めた情報を整理・分析して、内容ごとにまとめ、ポスター等書き表すことができる。</li> <li>●活動に見通しがもてず、自分からすすんで活動に取り組めない児童が見られる。</li> <li>●調べてわかったことを、自分の経験と関連付けたり実生活に活かしたりすることが難しい児童がみられる。</li> </ul>
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を設定し、解決していく活動の充実</li> <li>・活動への見通しのもたせ方の工夫</li> <li>・インターネットを適切に活用し、必要な情報の選択や情報の正誤を判断する技能の向上を図る指導の工夫</li> <li>・課題解決学習の進め方の定着を図る指導の工夫</li> </ul>
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しがもてるように、学習活動の計画や作成物の例を教室内に掲示する。</li> <li>・情報の集め方や整理する方法、考えをまとめる方法を具体的に提示しながら指導する。</li> <li>・情報リテラシーを身に付けるために、他教科の学習内容と関連付け、正しい情報の選択の仕方や入手した情報の確かめ方についての指導を繰り返す。</li> </ul>